5　保健体育

学校番号	119

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「最新高等保健体育」　（大修館書店）						
副教材等	最新高等保健体育ノート　（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・いろいろな種目に取り組むなかで、自己の能力に応じた基礎・基本的な運動技能・体力、筋力を高めよう。
・自他の運動を観察・分析し、興味・関心を高め、審判や得点係などの補助にも積極的に携わり、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

・選択体育を通じて、各種目特性にあわせた戦術や作戦を理解し、自らの技能を高める。
・ルールやマナーを大切にし、審判や得点係などの補助にも積極的に取り組めるようにする。
・それぞれの運動種目で達成感や成就感を体得し、意識を高め、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで活動に取り組み、健康や安全を確保して学習に主体的に取り組む姿勢、個人や集団の技能を仲間とともに高めようと工夫する姿勢を育む。また、ルールやマナーを大切にし、結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断でき、公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	選択した種目それぞれの特性やねらいを把握し、技能向上につなげる。 自己や仲間の健康の保持増進における運動の意義など心身にわたる効果に関する基礎的な事項を実生活に役立てることができる。運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。試合ではプレーだけでなく、審判や得点、記録などの役割を主体的にできる能力を身につける。	より一層の探究心をもち、運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、各領域の運動特性に応じた段階的な技能、さらに新しい技能を身に付け、実践する。 また、集団での運動の際には、協力し、仲間とともに楽しむことができるようにする。	技能に応じて体力を高めることの必要性を理解する。ルールや新しい技術の行い方を学習するなかで、生涯にわたってスポーツに取り組む姿勢を身につける。また、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 レポート 等	受講態度の観察 レポート 等	受講態度の観察 技能観察 等	受講態度の観察 レポート 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				主な評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	オリエンテーション ①安全上の注意点の説明 ②貴重品の管理の徹底 ③種目の選択について ④授業でのルールについて	○				a：受講態度、授業ルールの理解	受講態度の観察
1学期	4~7月（Ⅰ期） ・バスケットボール ・バドミントン ・サッカー ・ソフトボール ・卓球 ・ライトバレー	①基礎技能の習得 ②種目の特性とルール理解 ③ルールの確認と状況判断、戦術理解 ④ゲームと審判、補助 ⑤技能の向上と戦術の改善 ⑥振り返り	○	○	○	○	a:取り組み姿勢、道具や環境の整備 b:冷静な状況判断、戦術の選択、実施 c:各種競技の向上 d:ルールの理解	受講態度の観察 技能観察
2学期	8~10月 （Ⅱ期） ・バスケットボール ・バドミントン ・サッカー ・ソフトボール ・卓球 ・ライトバレー	①基礎技能の習得 ②種目の特性とルール理解 ③ルールの確認と状況判断、戦術理解 ④ゲームと審判、補助 ⑤技能の向上と戦術の改善 ⑥振り返り	○	○	○	○	a:取り組み姿勢、道具や環境の整備 b:冷静な状況判断、戦術の選択、実施 c:各種競技の向上 d:ルールの理解	受講態度の観察 技能観察

3学期	10~1月 （Ⅲ期） ・バスケットボール ・バドミントン ・サッカー ・ソフトボール ・卓球 ・ライトバレー	①基礎技能の習得 ②種目の特性とルール理解 ③ルールの確認と状況判断、戦術理解 ④ゲームと審判、補助 ⑤技能の向上と戦術の改善 ⑥振り返り	○	○	○	○	a:取り組み姿勢、道具や環境の整備 b:冷静な状況判断、戦術の選択、実施 c:各種競技の向上 d:ルールの理解	受講態度の観察 技能観察

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重みを付けて行う観点）について〇をつけている。